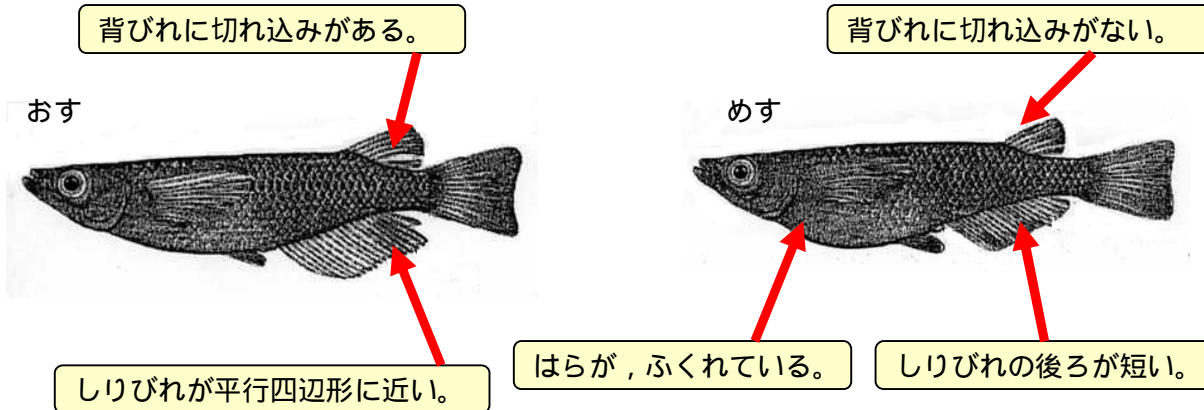


メダカのめすとおすをかって、たまごをうませよう。

(東京書籍「新しい理科 5上」p28)

メダカの雌雄を飼育して卵をうませ、卵の中のを観察するための準備をする。

めすとおすの見分け方



メダカの飼育のしかた

えさ

1日に1~2回、食べ残しがない程度に与える。産卵させるための条件を満たしている場合は、少し多めに与える。

飼育用水

直射日光下に1日以上汲み置いたものを使用する。汚れたら3分の1程度ずつ替えるようにする。

濾過器

濾過綿と炭の簡易なものでよい。

水草

酸素を供給し、水槽内の無機塩類を吸収する。

赤玉土

水草の成長と水槽内の環境の安定化を図る。



<産卵させるための条件>

水温が、およそ25 ~ 28 であること。

日照時間が13~14時間以上であること。



<用意するもの>
メダカの卵, ペトリ皿, ピンセット, 柄付き針 (ピンセットでも代用可), ガーゼ, メチレンブルー液, スポイト

留意点

卵の観察準備 (クリーニング)



【写真1】

産卵し, はらに卵が付いているメダカを, メダカごとすくい取って, 卵の塊を取る。 【写真1】



【写真2】

濡れたガーゼの上に卵を置き, 人差し指の腹で優しく円を描くようにこすりつける。(クリーニング) 【写真2】



【写真3】

卵の付着糸が絡んでひとかたまりになったら, ペトリ皿に移し, 柄付き針を用いて, 卵の付着糸をはがす。 【写真3】



【写真4】

0.0001% メチレンブルー液の入ったペトリ皿などの容器に移し, 孵化するまで観察する。 【写真4】

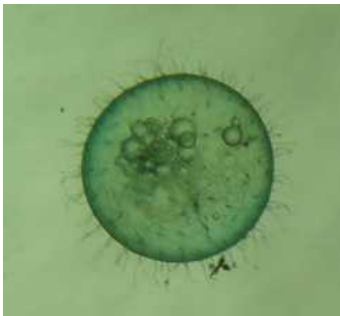
<準備のポイント>
成魚が卵を食べることがあるので, 早めの作業を心がける。
卵は, つぶさないように, 移し替える時はピンセットを使い, 丁寧に扱う。

<メチレンブルー液>
白点病, 尾ぐされ病, カビ病等の魚病薬として用いられる。
ペットショップ等で購入し, わずかに青色を示す程度 (水2リットルに1滴程度) に薄めたものを使用する。

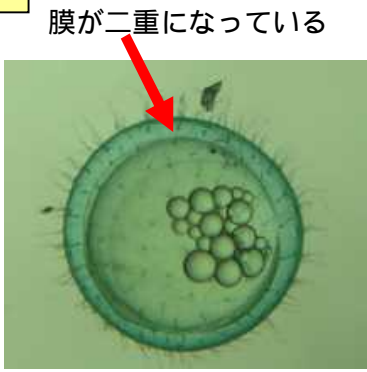
<ペトリ皿について>
ペトリ皿は, 解剖顕微鏡や双眼実体顕微鏡ののせ台に置いて, そのまま観察することができる。
ペトリ皿がない場合は, 透明なプラスチック容器でも代用できる。

卵の観察準備 (未受精卵の除去)

「未受精卵」は, 白っぽい色をしているので, 肉眼でも判別可能です。そのままにしておくと, カビが発生しやすくなるので見つけたら取り除きましょう。



【未受精卵】



【受精卵】

膜が二重になっている